

○全24件の意見への対応状況

- ・◎：計画本文に反映するもの … 13件
- ・○：本文には反映しないが施策等に対応中のもの … 5件
- ・△：本文には反映しないが対応を検討中のもの … 6件（高齢者のがん、通院費支援、ピアサポーター、ピアランスケア）

No.	区分 (分野)	区分 (細項目)	意見	委員名	担当課	対応	
1	全体目標	年齢調整制帽率	・全国的にがんの死亡・罹患が増えており、主に75歳以上の高齢者患者の増加によるものと思われる。 ・現在の「75歳未満」という目標値では実態が見えてこないため、追加の目標値について検討いただきたい。	田中委員	健康づくり支援課	◎	・75歳未満に加えて、全年齢の年齢調整死亡率を併記するとともに、その推移等についても計画本文で言及する。
2	がん予防	たばこ	・喫煙に関するところで、電子たばこを視野に入れた具体的な記載をお願いしたい。	田中委員	健康づくり支援課	◎	・県が実施する県民健康・栄養実態調査においても、R6調査から電子たばこの使用状況に係る設問を追加している。 ・喫煙者に占める電子たばこ・加熱式たばこ使用者の割合が増加していることも踏まえ、計画においても具体的な記述を検討する。
3	がん予防	HPVワクチン	・接種率のデータについて、リアルタイムで情報の公開をお願いしたい。	吉原委員	感染症対策・薬務課	○	・HPVワクチンの接種率については、接種月の翌々月に市町村の実績を取りまとめ、国の試算方法に準じて県で独自に算出しており、医療機関や市町村等の関係者に対して、随時情報提供をしていきたい。
4	がん医療	がんゲノム医療	・がんゲノム医療について、地域によっては積極的に受けられないところもあるため、ロジックモデルにおいても、連携病院の数など具体的な数字を挙げてはどうか。 ・また、実態としてどのくらい治療と結びついたのかを把握することが重要であり、最終的に治療に結びついた数字を評価項目にするとういのではないかな。	吉原委員	地域医療政策課	◎	・がんゲノム医療の進展が測りやすい患者数について、評価項目としたい。（「がん遺伝子パネル検査を実施した患者」） ・治療と結びついた数字について、評価項目としたい。（「がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスパートパネルで推奨された治療法へ到達した症例」）
5	がん医療	チーム医療	・チーム数だけでなく、がん専門認定看護師等、有資格者の配置についても記載いただきたい。	池田委員	地域医療政策課	◎	・引き続き、専門的にがん診療を行う多職種研修について記載する。（現計画に記載済み）
6	がん医療	医科歯科連携	・地域の歯科医師にとって拠点病院との連携はハードルが高いので、まずは病院歯科の充実を図る等、取り組みやすい連携の仕方を記載いただきたい。	山下委員	健康づくり支援課	◎	・本指標はがん診療連携拠点病院等における地域の歯科医師との連携状況に関する指標であることから、このままとする。 ・他方、地域の歯科医師が取り組みやすい連携の仕方については、他の関連計画における記載も踏まえ、本文への反映を検討する。

No.	区分 (分野)	区分 (細項目)	意見	委員名	担当課	対応	
7	がん医療	がん医療の均てん化	・広い本県におけるがん医療の均てん化は継続した課題であり、本文においても「全県の均てん化」を意識した文言を取り入れてほしい。	田中委員	地域医療政策課	◎	・引き続き「全県の均てん化」について記載する。（現計画に記載済み）
8	がん医療	がん医療の均てん化 がんゲノム医療	・拠点病院等の施設認定のハードルが高くなっていることから、がん診療連携協議会等の場において知恵を貸してほしい。	田中委員	地域医療政策課	○	・国の施設認定要件が追加されてきていると承知しているが、引き続き協議会等で議論いただきたい。
9	がん医療	在宅医療	・ロジックモデルの指標として、医療機関数だけでなく訪問看護ステーション数も入れていただきたい。	池田委員	地域医療政策課	◎	・ターミナルケアを実施する訪看ステーション数を入れる。（医療計画在宅分野指標）
10	がん医療	高齢者のがん	・がん医療の裾野の拡大に関連して、療養病院においては高齢者の入院患者の薬代は全部病院の持ち出しとなる等、がん治療を実施できる体制にないという点をご理解いただきたい。	内山委員	地域医療政策課	△	・療養病院における高齢者の薬剤費の扱いの現状を踏まえながら、施策を実施していきたい。
11	がん医療	高齢者のがん	・認知症の患者やその家族の療養生活を支える役目を担っているのは、がん診療連携拠点病院ではなく一般病院であり、その点も考慮いただきたい。 ・認知症の患者を受け入れる際の問題について、行政が実態把握をすべきではないか。	富所委員	地域医療政策課	◎	・地域の医療機関等と連携して対応する旨、記載を追加する。 ・認知症患者対応の問題等について、聞き取り等により状況を確認したい。
12	がんとの共生	小児がん	・高度ながん医療を受けるために遠方の病院に通う必要があり、通院費等の経済的な支援についても検討いただきたい。	柄澤委員	健康づくり支援課	△	・通院費等の経済的支援のあり方について、他県状況等も踏まえながら検討したい。
13	がんとの共生	がん教育	・がん教育における外部講師の活用について、もっと積極的に推進いただきたい。（外部講師として登録しているが、一度も派遣依頼がない。）	内藤委員	保健体育課	○	・令和5年度本県の学校におけるがん教育での外部講師活用状況は全体で10.0%（全国平均12.4%）、また教育庁保健体育課作成の外部講師リスト活用校は17校と低い状況である。 ・引き続き、がん教育研修会の充実や外部講師リスト活用の周知、リスト登録数の増加等により、がん教育における外部講師の活用を推進していく。
14	がんとの共生	がん患者団体	・がん種ごとの患者会との意見交換や、行政・医療機関・患者会をネットワークしていくことが必要ではないか。	柄澤委員	健康づくり支援課	△	・地域のがん患者団体の活動実態の把握に努めるとともに、関係機関とのネットワーク構築について検討する。
15	がんとの共生	ピアサポート	・新潟県でもピアサポーター養成講座を実施してほしい。	内藤委員	健康づくり支援課	△	・患者団体やがんサロンにおけるピアサポーター養成の現状について把握するとともに、養成講座を必要とする関係者への情報提供に努める。
16	がんとの共生	ピアサポート	・デジタル化推進の一方で、人との対面によるサポートも重要であるため、配慮いただきたい。	柄澤委員	健康づくり支援課	◎	・がん相談支援センターやピアサポート等、従来からの支援体制についても配慮した記載とする。
17	がんとの共生	アピアランスケア	・医療従事者だけでなく、美容師等による専門的な支援も重要であり、患者と支援者と結びつけるための取組が必要。	内藤委員	健康づくり支援課	△	・患者が必要とする支援を受けられるよう、相談支援センターのみならず、美容師等の専門人材と連携した情報提供の体制づくりに努める。

No.	区分 (分野)	区分 (細項目)	意見	委員名	担当課	対応	
18	がんとの共生	アピアランスケア	・医療用補整具について、子どもは成長するとサイズが合わなくなるので、2回目以降の支援についても検討いただきたい。	柄澤委員	健康づくり支援課	△	・市町村における支援の実態や患者等の要望も踏まえ、今後の支援のあり方について検討する。
19	がんとの共生	緩和ケア	・がん患者の終末期の場所としてどこが適切なのか、がん医療の裾野を拡げた検討についての記載もお願いしたい。	田中委員	地域医療政策課	◎	・緩和ケアチームによる対応、ホスピス・緩和ケア病棟や在宅医療等について、引き続き記載する。
20	がんとの共生	相談支援	・相談支援センターの院外への周知とともに、利用者数だけでなく相談者の満足度についても把握できるとよいのではないか。	内藤委員	地域医療政策課	○	・院外への周知については、がん診療連携協議会情報連携部会を中心に各病院や県で行っている。相談者の満足度把握についても、相談者からのフィードバックの活用は拠点病院の指定要件となっていることから、各病院において実施している。
21	これらを支える基盤	デジタル化	・スマホからの情報は信ぴょう性が疑われるものも多いため、デジタル化の推進において留意いただきたい。	柄澤委員	健康づくり支援課 地域医療政策課	◎	・デジタル化の推進とあわせて、情報の一元的な発信等、正しい情報提供に努める旨記載する。
22	これらを支える基盤	デジタル化	・具体の取組がないのであれば、正直に「国の動きを注視する」等の記載を入れるべきではないか。 ・がん医療におけるDXの活用事例も出てきており、1つのビジョンとしてあり得るのではないか。	吉原委員	健康づくり支援課 地域医療政策課	◎	・「国の動きを注視する」等の記載を入れたい。
23	これらを支える基盤	人材育成	・専門職の育成数をアウトカムに用いるのであれば、資格取得のサポートについても配慮いただきたい。	田中委員	地域医療政策課	○	・引き続き、国の補助制度を踏まえ、がん相談支援相談員等の資格取得支援を継続していきたい。
24	これらを支える基盤	人材育成	・医師だけでなく、専門性を持った看護師や薬剤師等の養成についても追記いただきたい。 ・薬剤師に関しては、県内に専門人材の養成施設がないので、基準を満たす医療機関には配慮いただきたい。	池田委員 渡部委員	地域医療政策課 感染症対策・薬務課	◎	・現行計画においても、看護師・薬剤師の育成に関する記述があり、新計画においても引き続き記載する。